

令和4年度 西都市立妻中学校 自己評価及び外部評価書

【評価段階】 4：期待以上である（80%以上） 3：ほぼ期待どおりである（50%以上80%未満）

2：ほぼ期待どおりである（20%以上50%未満） 1：改善を要する（20%未満）

評価指標	実践項目	自己評価	学校の評価コメント	外部評価
確かな学力の定着	キャリア教育の充実	3.5	○外部講師を招いた講話や体験活動が制限される中、可能な範囲で生徒個々のキャリアデザインを描くための支援を行うことができた。（キャリア未来ゼミ）	3.6
	「分かる授業」「発見・感動ある授業」実践のための授業研究・改善	3.5	○「授業改善の4つのチェックポイント」（特にめあてとまとめの整合性）を意識した日常授業の改善に取り組んだ。 ○ICT活用に関する研修や授業実践に取り組んだ。	3.6
主体的に挑戦する集団づくり	生徒が主体的に活動・活躍する場の設定・支援	3.5	○体育大会や秋桜祭を中心に、生徒自身が、自ら考え自ら実践する場を設定し、支援・指導にあたることができた。	3.8
	生徒が自ら魅力的な学校・校風づくりに参画しようとする態度の育成	3.5	○生徒会活動（行事、役員選挙、日常の活動、オール西都生徒会校則検討委員会）を中心に、生徒自ら学校づくりに参画する意識の醸成を図ることができた。	3.6
体を鍛え心を耕す	自ら意欲的に心身を鍛え、自他の生命を尊ぶ態度の育成	3.0	○保健体育科の授業や部活動等で体力の向上を図ることができた。 ○ピア・サポート（仲間同士で相互に支え合う活動）実践推進校として、また、人権学習（コスモス授業）を通じて、職員研修を行い、理解を深めることができた。	3.3
いじめ・不登校対策の推進	積極的な生徒指導体制の充実を図り、いじめ・不登校の未然防止	3.0	○いじめ・不登校対策委員会を核に、SC、SSW、福祉事務所等と連携しながら学校あげて組織的にその未然防止や対応にあたることができた。しかしながら、不登校生徒の減少には至っていない。	3.1
（妻高等学校を含む）地域との連携	キャリア教育や体験活動への地域人材の積極的な活用	3.5	○新型コロナウイルスの影響の下、制限はありながらも、キャリア教育に関する外部講師を招いての講話や修学旅行、職場体験学習をはじめとした体験活動を実施することができ、学びの機会を提供できた。 ○創立100周年を迎えた妻高校との様々な交流を図ることができた。	3.6